



第32回 全日本大学ホッケー王座決定戦

開催日時 6 月 25 日 (火) 会場 岐阜県グリーンスタジアム A 天候 晴れ

【全試合結果】

3位決定戦 女子 9:30	駿河台大学	1	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$	2	立命館大学
3位決定戦 男子 11:20	天理大学	4	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$	1	山梨学院大学
決勝戦 女子 13:10	東海学院大学	1	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	2	山梨学院大学 2年ぶり4度目
決勝戦 男子 15:00	朝日大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	4	立命館大学 3年ぶり4度目

【各試合の結果・詳細】

3位決定戦 女子の部

駿河台大学 1 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$ 2 立命館大学

<得点>

駿河台 : 45分 尾関
立命館 : 67分 山内、70分 山下

<戦評>

立命館大学のセンターパスにより試合が開始。立ち上がり、立命館のペースで試合は進む。駿河台大学は全員守備で、立命館の攻撃を阻む。12分、駿河台は堅い守りからのカウンターでPCを取得。しかし、このチャンスを活かすことができない。立命館も素早いパス回しからサークルに入り、ゴールを狙う。21分、立命館#19上館がリバースヒットを放つも、駿河台GK#1峠のファインセーブにより得点には至らない。29分駿河台はPCを取得。#3小川美がヒットで右下に打ちタッチを狙うが触ることができずラインを割る。前半は0-0のまま折り返す。
後半に入り42分、立命館はPCを取得。チャンスを活かすことができない。一方、45分駿河台はPCを取得。#3小川美がヒットで正面に打ち#18尾関がリバースで合わせ先制点を挙げる。その後、一進一退の攻防が続く。55分駿河台は4本立て続けにPCを取得。#3小川美のヒットを#10大野が右からタッチでゴールを狙うが追加点を得られない。59分にもPCを取得。#3小川美のヒットシュートが枠を外れる。追いつきたい立命館は64分、65分、66分と立て続けにPCを取得。#12山下がヒットシュートを右外に打ち、#10山内がタッチで合わせ同点とする。その後は立命館が攻め、69分にPCを取得。#12山下がヒットシュートを決めて逆転する。試合はそのまま終了し、2-1で立命館が逆転勝利を収め、3位となった。

テクニカルオフィサー	荻谷 和代	アンパイア	山田 恵美
リザーブ	壽山 由樹		元宗 宏寿
サジェスチョンアンパイア	安田 善治郎 渡邊 道彦	ジャッジ	鹿野 育郎

3位決定戦 男子の部

天理大学 4 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$ 1 山梨学院大学

<得点>

天理 : 22分 西尾、40分 西尾、55分 膳棚、66分 山水
山梨学院 : 36分 福居

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がり天理大学は、PCを取得。しかしこのチャンスを活かすことができない。両チームともに一進一退の攻防が続く。山梨学院はシュートまでいくが天理の堅いDFで得点には至らない。22分、天理がPCを取得。#29西尾がリバウンドに素早く反応し押し込み先制する。33分にもPCを取得。追加点を得られないまま1-0で前半戦を折り返す。
後半に入り、37分、山梨学院は#7村田のドリブルを起点にゴール前のこぼれ球を#5福居が押し込み同点に追いつく。対する天理は40分#6落合が右サイドをドリブルで突破し、#29西尾が合わせ再びリードする。同点に追いつきたい山梨学院は47分、PCを取得するも、天理GK#18吉川の好セーブにより得点に繋がらない。天理は#16小澤のドリブル突破から54分にPCを取得。#2膳棚が右下に決め、リードを広げる。66分天理は、前線でボールを奪い#24山水のヒットシュートが山梨学院のDFに当たり追加点となる。70分、山梨学院は粘りを見せ、PCを取得するも点には繋がらない。試合は4-1で天理が3位となった。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	高橋 英行
リザーブ	中元 大輔		重森 誠
サジェスチョンアンパイア	西松 孝治 木下 英貴	ジャッジ	荻谷 和代

決勝戦 女子の部

東海学院大学 1 $\left(\begin{array}{c} 1 - 1 \\ 0 - 1 \end{array} \right)$ 2 山梨学院大学
2年ぶり4度目

<得点>

東海学院 : 26分 義浦
山梨学院 : 31分 田中、69分 西永

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスにより試合が開始。立ち上がり両チームともにインターセプトを狙い、カウンターからの得点を狙う。15分、東海学院大学#17森下が左サイドから持ち込みPCを取得。立て続けに3回のチャンスを得るが、山梨学院の堅い守りに阻まれ得点できない。20分、山梨学院は堅い守りの中からカウンターでPCを取得するも東海学院GK#12清水香のファインセーブにより、得点に繋がらない。26分東海学院は#9清水美がドリブルでサークル内に持ち込みPSを取得。#4義浦がゴール右下へ落ちて点を決め、先制点を挙げた。32分山梨学院は右サイドから攻め込みPCを取得し、#1田中が右下へフリックシュートを決め、1-1とし、前半戦を折り返す。

後半に入り、41分東海学院はPCを取得。#9清水美がタッチシュートを試みるも枠を捉えられない。46分、東海学院は自陣のサークルからカウンターを仕掛けPCを取得するも得点に繋がらない。対する山梨学院は48分にPCを取得。#20藤井がドラックを放つも東海学院GK#12清水香のファインセーブにより追加点を挙げる事ができない。60分、再びPCを取得するも、東海学院#18高橋の好セーブによりチャンスを活かしきれない。このまま延長に入るかと思われた68分、山梨学院はPCを取得。東海学院GK#12清水香が弾いたボールを山梨学院#15西永が押し込み2-1となる。そして、試合終了の合図がなり、山梨学院が2年ぶり4度目の優勝を果たした。

テクニカルオフィサー リザーブ	西松 孝治 高橋 英行	アンパイア	壽山 由樹 渡邊 道彦
サジェスチョンアンパイア	加藤 直美 安田 善治郎	ジャッジ	大橋 守

第4試合

朝日大学 0 $\left(\begin{array}{c} 0 - 2 \\ 0 - 2 \end{array} \right)$ 4 立命館大学
3年ぶり4度目

<得点>

朝日 :
立命館 : 13分 大橋、34分 田中、40分 大橋、61分 森

<戦評>

朝日大学のセンターパスにより試合が開始。立ち上がりから両者激しい攻防が続く。13分、立命館大学はパスを繋ぎゴール前でフリーになった#9大橋がリバースヒットを決め先制点を挙げる。朝日もパスを繋ぎ、攻撃を試みるも立命館の組織的な守備に攻めきれない。35分、立命館は#5藤原と#7佐々木がパスで崩し、最後は#8田中がリバースヒットを決め2-0となる。立命館リードのまま前半戦を終える。

後半に入っても立命館のペースで試合は進む。39分、立命館がPCを取得。#9大橋が豪快なフリックシュートを決め、リードを広げる。立命館の攻撃が続く中、58分、朝日がPCを取得するも立命館の堅い守備により得点には繋がらない。61分、立命館がPCを取得。#11森がドラックシュートを決め、4点目を挙げる。1点の欲しい朝日は62分パワープレーに出る。果敢に攻めるが得点には繋がらず0-4で試合が終了。立命館が3年ぶり4度目の優勝を果たした。

テクニカルオフィサー リザーブ	鹿野 育郎 元宗 宏寿	アンパイア	中元 大輔 木下 英貴
サジェスチョンアンパイア	加藤 直美 山田 恵美	ジャッジ	荻谷 和代